学校番号	４１２

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「現代文Ｂ　改訂版　上巻　下巻　」　（大修館書店）						
副教材等	大学入試共通テスト実力養成　（ラーンズ）、共通テスト＋センター試験国語過去問題（尚文出版）、新国語問題演習（桐原書店）、完成現代文（尚文出版）、読解を深める現代文単語（桐原書店）、大学入試 TOP1200（いいずな書店）、トータルサポート新国語便覧（大修館書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身につけてください。
・評論文の論理構造と筆者の主張、小説の登場人物の心情の変化と話の展開を読み取りましょう。
・大学入試問題を意識して、文章の構造と論理の展開を読み取りましょう。
・予習として必ず本文を読んだ上で、語句と漢字の学習をしましょう。授業後には復習しましょう。
・提出物の期限を守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

・近代以降の様々な文章を読んで、構成・展開・要旨などを的確にとらえ、その論理性を理解することができる。
・目的や課題に応じて、情報を分析・整理し、自分の考えを深め効果的に表現することができる。
・小説や詩歌などの文学的文章を読んで、作者の意図や、人物・情景・心情の描写などを的確にとらえることができる。
・語句の意味・用法を理解し、語彙を豊かにして、自分の表現に役立てることができる。
・ものの見方・感じ方・考え方を深め、進んで読書し、国語の向上を図り、人生を豊かにする態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 記述の確認 （ノート・ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート・原稿用紙）	記述の確認及び分析 （ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート・ワークシート等） 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	評論1	教材: 内田　樹 「贈り物」としてのノブリス・オブリージュ	○			◎	○	a:「天賦のもの・能力」と「果たすべき義務」について考えようとしている。 d: 筆者の結論的意見・論証にあたる部分はそれぞれどこかということを意識して、文章の要旨を読み取っている。 e: ことばの成り立ちについて理解している。	a:行動の観察 d:記述の分析及び定期考査 e:記述の確認及び定期考査
	評論2	教材: 中村　桂子 「虫愛づる姫君」	○			◎	○	a:「科学的態度」について具体的事例を挙げながら自分の考えを深めようとしている。 d:「愛づ」「究める」という筆者の主張について、文章中での意味を理解した上で、自分の言葉で表現し直している。 e:「機械論的世界観」「科学革命」「価値観の変換」という語の意味を理解し、筆者がどのような意図でこれらの語を用いているのかを理解している。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:記述の確認及び定期考査
	小説	教材: 梶井基次郎 「檸檬」	○	○		◎	○	a: 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などに沿って忠実に読み、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 b:「私」のものの感じ方とらえ方について、大正末期という時代と現代を比較しながら他者の考えを理解するとともに自分の考えを的確に表現しようとしている。 d: 手記の形式を踏まえて「私」の心情を、状況ごとに整理してまとめ、「私」の人物像を考察している。 e: 諧謔を含んだ、独自の感性で作品世界を展開する文体が、場面ごとにもたらす、表現上の効果を理解している。	a:行動の観察 b:行動の観察、相互評価シート d:記述の確認及び定期考査 e:記述の確認及び定期考査

2学期	評論3	教材: 加藤周一 「日本文化の三つの時間」	○			◎	○	a: 読むことを通して、筆者の論理展開の仕方を把握しようとする態度を身につける。 d: 各段落の要旨をまとめ「時間」についての筆者の考えを的確にとらえている。 e:歴史・地理・自然・宗教・古典を踏まえた博識な実例から、筆者の主張をとらえ、またその表現上の効果を理解している。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:行動の分析及び定期考査
	評論4	教材: 大澤真幸 「リスク社会としての現代」	○		○	◎	○	a: 語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、正確に読み取ろうとしている。 c：筆者の主張に対する自分の考えを、「リスク」の具体例を根拠に論理的に表現している。 d:「リスク社会」と「民主主義の危機」の関係から、科学的「知」「真理」と「倫理的・政治的決定」との断絶を導くという文章展開を的確にとらえる。 e: 文章中の抽象的表現の意味や論理の展開、筆者の主張を理解している。	a:行動の観察 c:記述の分析、レポート d:記述の分析及び定期考査 e:記述の確認及び定期考査
	評論5	教材: 鷲田清一 「こころは見える？」	○			◎	○	a: 評論を読むことで、視野の拡充を図ろうとしている。 d: 論の展開を踏まえ、逆説的な表現の内容を説明したり、筆者の主張の根拠をまとめたりしている。 e: 引用・例示という表現技法の働きを引用・実例以外の文章との関連性からとらえている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:記述の確認及び定期考査
3学期	実践練習	教材: 「大学入試共通テスト実力養成」等の実践練習			○	◎	○	c：適切な表現で文章を書いている。 d：文章を的確に読み取り、制限時間内に解答している。 e：言葉や漢字の知識を習得している。	c、d、e：記述の確認

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力
c:書く能力　　d:読む能力　　e：知識・理解

※・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。